

青年漁業者の環境変化に対する実感

- 漁期
- 魚種
- 生育等
- 水温等

イカが沖合を回遊(佐賀)
 クラゲ時期が長期化(佐賀)
 3年前から南方系の魚
 定置では10年前から(佐賀)
 例年獲れている時期に獲れ
 ず、漁獲量も減少(長崎)
 H25～磯焼け激化(長崎)
 藻場が育たなくなった(大分)
 定置にアジ・イカが入らない
 (鹿児島)
 定置に南方系の魚が入るよ
 うに(鹿児島)
 磯焼けが深刻。海藻を食べ
 るウニやアイゴ、イスズミ、
 フダイが増えた印象
 (鹿児島)
 回遊してくる魚の周期と大き
 さが変わった(鹿児島)
 水温が変化した(鹿児島)
 糸モズクや海ぶどうの
 生産が不安定に(沖縄)
 10年前から水温上昇(沖縄)

しけの日数が増えた(山口) 魚の寄生虫の増加(福井)
 旬の時期に旬の魚が獲れ
 ない(福岡) 数年前から磯焼けがひど
 い(福井)
 二枚貝の斃死(福岡) 夏から秋にかけて漁期が
 遅れている(福井)
 タチウオが獲れた(福岡) 獲れる魚の季節感がズレ
 た(富山)
 赤潮発生が早期・長期化
 (佐賀) 定着性魚の減少(富山)
 ウニの実入り時期がズれて
 きた(佐賀) 南方系の魚
 が大きくな
 ってきた(富山)
 ノリの採苗時期が遅くなっ
 た(佐賀)



ここ4、5年、南方系のフグ漁獲が
 異常な伸び(北海道)
 定置でブリ漁獲が増えた(北海道)
 耳吊りホタテ貝の脱落が目立つ(青森)
 ホタテ天然採苗が難しくなった(青森)
 年々マダイが増えてきた(青森)
 春～秋の海水温が異常(岩手)
 イセエビが見られるようになった(岩手)

4,5年前から海水温上昇(北海道)
 10年程前からコンブの生育が悪
 く枯れるのも早くなった(北海道)
 漁期が年々ずれている(北海道)
 夏場の高水温でカキ成長遅れ(宮城)
 2年位前から南方系の太刀魚、イセエ
 ビやシイラが獲れるようになった(宮城)
 海水温が以前よりも下がらな
 くなったためか、底魚生息域の季
 節移動の時期が変化した(福島)
 コウナゴがいなくなった(福島)
 南方系のイセエビ等が顕著に漁
 獲されるようになった(福島)
 数年前から冷水系の魚が揚がら
 なくなった(茨城)
 11月に入っても水温が19～20℃
 前後と高く、しらすが獲れている
 (茨城)
 4,5年前からグルクンが年間通じ
 て釣れるようになった(静岡)
 栄養塩が少なくなり、海が澄んで
 きた(愛知)
 アサリ、コウナゴ、アナゴ、シャコ
 等不漁(愛知)
 獲れる魚種が変わった(愛知)
 潮位が全体的に高くなった(愛知)
 海水温が高くなった(愛知)
 海流が弱まった(三重)

イカナゴが獲れない(三重)
 海藻が減った(三重)
 在来魚が減り外来魚が繁殖(滋賀)
 5年前から定置にヨコスジフエダイが
 増え始め、大型化(兵庫)
 海苔生産期間が5カ月から2カ月に短
 くなった(兵庫)
 海水の透明度がすごい(兵庫)
 カキの天然採苗が不調となった(広島)
 カキの生育不良と斃死(広島)
 ナルトビエイ・ヘイケガニが増え
 た(愛媛)
 2015年頃から春のサワラが早
 く瀬戸内海に入るように(香川)
 年中獲れる魚・獲れる時期が
 ずれた魚が出てきた(山口)
 2015年頃からは春のサワラが早
 く瀬戸内海に入るように(香川)
 クルマエビ・エビ類が減少(愛媛)
 ウミエラ・ヒトデが大量発生
 (愛媛)

有明海苔の色落ち

